

**製品名: PSG3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16599**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	PSG3
別名	PSG3; Pregnancy-specific beta-1-glycoprotein 3; PS-beta-G-3; PSBG-3; Pregnancy-specific glycoprotein 3; Carcinoembryonic antigen SG5
遺伝子 ID	5671.0
SwissProt ID	Q16557
免疫原	ヒト PSG3 の内部領域から得られた合成ペプチド。

**背景**

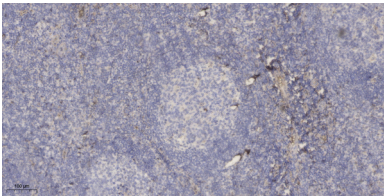
ヒト妊娠特異的糖タンパク質 (PSG) は、妊娠中に胎盤栄養芽細胞で大量に合成され、母体循環に放出されるタンパク質ファミリーで

す。いくつかの PSG 遺伝子の分子クローニングと解析により、PSG は免疫グロブリンスーパーファミリー遺伝子に属する癌胎児性抗原 (CEA) 遺伝子ファミリーのサブグループを形成することが示されました。CEA ファミリーのメンバーは、免疫グロブリン可変ドメインと構造類似性を持つ単一の N ドメインと、それに続く可変数の免疫グロブリン定常ドメイン様 A ドメインおよび/または B ドメインで構成されています。ほとんどの PSG は、N 末端ドメインに arg-gly-asp (RGD) モチーフを持ち、これはいくつかのインテグリンの接着認識シグナルとして機能することが示されている (Teglund らによる要約、1994 年[PubMed 7851896])。PSG 遺伝子ファミリーに関する追加の一般情報については、PSG1 (MIM 発達段階:PSBG は妊娠中に大量に産生されます。類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。CEA ファミリー。類似性:1 つの Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインが含まれます。類似性:3 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインが含まれます。、

## 研究分野

タグと細胞マーカー; 細胞型マーカー; その他の細胞型; 発生生物学; 生殖; 胎盤の発達

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。